

<h1>1年道徳</h1>	主題名「あたたかい心で親切に」 2-(2)思いやり・親切 資料名「はしの上のおおかみ」
1年1組 教諭 三浦 麻希	<1次公開> 5校時 13:30~14:15

1. 主題設定について

内容項目の特性・特徴

本主題は、道徳の内容2-(2)「幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。」に当たる。自己中心的な面がまだのこっている低学年の児童にとっては、他者とのかかわりの中で実感を伴いながら、思いやりの心や親切な心を身に付けていくことが大切である。

主題の分析

思いやりの心や親切な心とは、他者との豊かな関わり合いをもつための基本的姿勢である。

本学年の子どもたちは、困っている相手の心情を考え、優しく接することができる児童が多い。今回はさらに、本主題を通し、親切にすることが自分や相手だけではなく、周りのみんなも気持ちよくなるということを感じ取らせ、温かい心で接し親切にすることの大切さについて考えを深めさせたい。

2. 授業改善に向けて

改善1【確かな学びの積み上げがある教材化】

・資料提示の工夫

子どもがおおかみになりきり、役割演技をすることで、気持ちを考えやすくする。「えへん、へん。」と威張って橋を渡らせないときのおおかみと、うさぎを抱き上げて渡らせてあげたときに「えへん、へん。」と言っているおおかみの場面を提示し、「えへん、へん。」の言葉に込められた気持ちの違いを考えさせるようにしたい。

・他の教育活動との関連付け

これまで、特別活動の「異学年交流」では、2年生や6年生とのかかわりの中で、親切にしてもらった経験を積んできている。2年生への進級に向け、生活科「あたらしい1年生をしょうたいしよう」では、相手意識をもち「新1年生に優しくしてあげたい。」という思いを、道徳での本主題と関連付けながらもたせられるようにする。

改善2【子どもの学びが高まる3つの場】

・つかむ場

日常生活の中で、「ありがとう」という言葉を使う場面を振り返りながら、誰かに親切にしてもらったことや、優しくしてもらったことなどを交流する。「ありがとう」と“言われる立場”と“言う立場”双方の気持ちに触れ、わかる場で“見ている周りの立場”の気持ちを考えるための方向付けをする。

・わかる場

自分よりも体の大きなくまが、自分とは違い優しく橋をわたらせてくれた場面について、「くまさんは優しいな。」

という憧れと、「くまさんには意地悪できなかったぞ。」という悔しさの2つの気持ちについて交流し、おおかみの心情の変化を吟味していく。さらに、おおかみとうさぎ、双方の気持ちに共感しながら、他の動物たちの気持ちにも触れ、双方を包み込む周りとのつながりを価値付けていく。

・たしかにする場

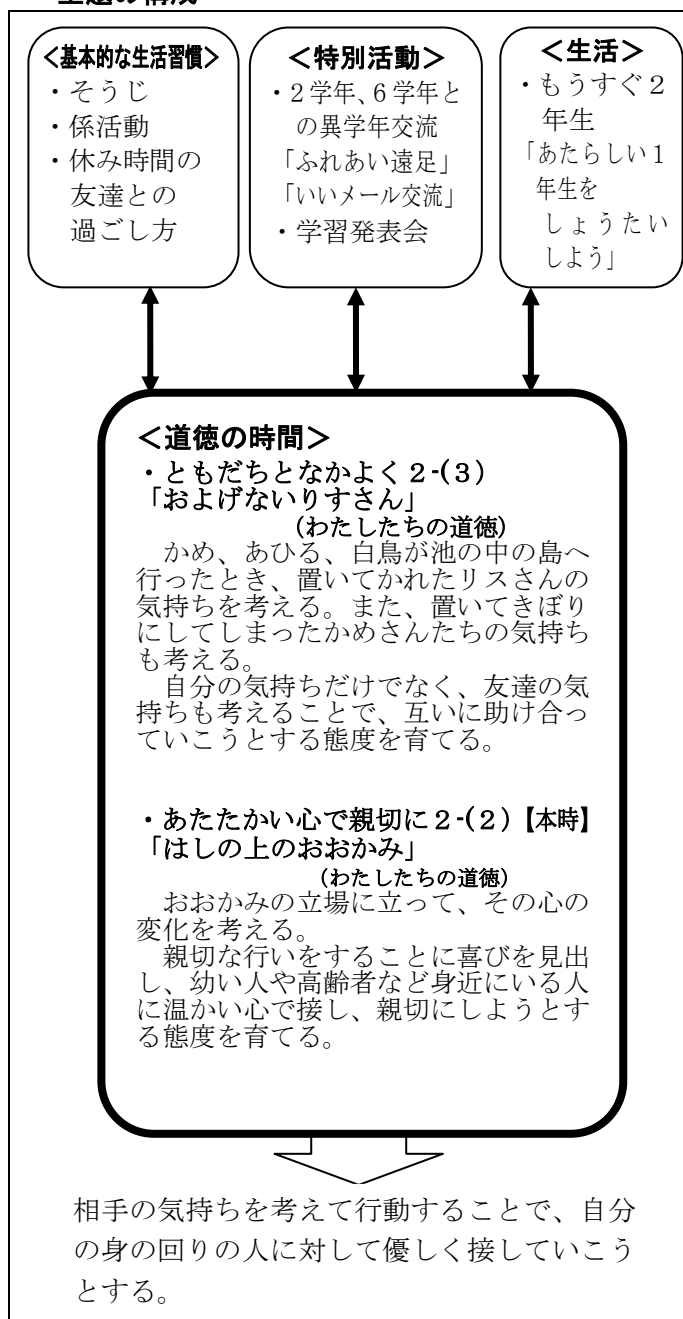
自分たちの生活に置き換え、親切さを感じられるような場面を見て気持ちがよくなった経験を交流する。思いやりの気持ちに気付いたおおかみに手紙を書くことで、温かい心で親切にする大切さを再認識させ、これからの生活に生かそうとする気持ちをもたせる。

3. 主題構成

・主題のねらい

身近にいる人の心情を考え、温かい心で接し、親切にすることのできる資質を育てる。

・主題の構成



4. 本時案

本時の目標		役を演じることを通して、おおかみの心の変化に気付き、温かい心で親切に接することのできる資質を育てる。	
場		子どもの意識の流れと学習活動	教師のかかわり
つかむ	経験の中で親切にしてもらったことをもとにして、本時とのつながりをつかむ。	<p>○書記局のありがとう週間の中で書いたカードなどをもとにして、優しくしてもらったことや、親切にしてもらったことなどを交流する。【話す】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休み時間一人でいたときに「あそぼう」って言ってくれてうれしかった。 ・カッパを着られないでいたら手伝ってくれたよ。 <p>○「はしの上のおおかみ」の話 (P71, L7 まで) を聞く。</p> <p>おおかみの気持ちを考えよう。</p> <p>○うさぎが戻っていった時の「えへん、へん。」の気持ちを考える。【話す】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番強いぞ〜。へへへ、みんな怖がっているな。 ・俺様みたいな感じで怖がらせたいんじゃない？ <p>○くまが出てきた時の気持ちを考える。(P71 の最後までを読む。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分より大きいぞ…。突き飛ばされたら嫌だな〜。 <p>○くまを見送っていた時の気持ちを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活を把握しておく。 ・生活を振り返りながら、「ありがとう」と言われると嬉しい気持ちになること、親切にってもらって「ありがとう」と伝えた時の気持ちなど、双方の立場からの価値への方向付けをしておく。
わかる	おおかみの心情の変化に共感しながらも、親切にすると周りのみんなが気持ち良くなるのが分かる。	<p>やさしくされてあこがれる ←→ いじわるできなくて しやすい</p> <p>・抱き上げられるとは思わなかったよ。 ・くまさんって、カッコいい! ・やさしいなあ。 ・あんな風になりたいな。</p> <p>・くやしい! ・いじわるできなかった〜。 ・おれが一番強いと思ってたのに!</p> <p>○うさぎを後ろへ降ろした時の「えへん、へん。」の気持ちを考える。(最後まで読む。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんか優しくするって気持ちいいぞ! ・優しくしてもらったうさぎも嬉しかったと思うな。 ・森の動物たちも、嬉しかったんじゃないかな。 <p>みんな</p> <p>あいて ←→ じぶん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「こら、こら。」と「えへん、へん。」を全員が読むことでおおかみの気持ちに寄り添うきっかけをつくる。 ・ロールプレイングをして、役になることで、人物の気持ちを考えやすくする。 ・教師がくま役になる。 <p>【吟味する交流の手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くまの後ろ姿を見ながら、いつまでもはしの上に立っていたのはどうしてか、子どもの考えを揺さぶりながら状況と心情を追わせる。 ・優しくしたときに気持ちよくなるのはみんなと同じ気持ちだということを共感させる。また、優しくしてもらった相手も嬉しい気持ちになっていたこと、他の周りもいい気持ちになっていたことをおさえさせる。 ・つかむ場と違い、双方を包み込む周りとのつながりの価値付けをする。特に、見ていて気持ちが良くなったことや嬉しくなったことを出させる。または、教師が教室でのエピソードを語る。 <p>吟味する交流</p>
確かにする	自分の生活を振り返りながら、自分ごととして考え、生かそうとする。	<p>○自分たちの生活に置き換えて振り返る。【話す】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そんなこともあったなあ。 ・あのとき○○してくれて嬉しかったよ。 <p>○おおかみに手紙を書く。【書く】</p> <p>やさしくすると、自分だけではなくて、相手も周りのみんなも気持ち良くなるんだね。</p>	
本時の目指す子どもの姿	温かい心で親切に接することの大切さについて考えを深め、自分の生活への意欲を高める。		

5. 板書計画

